

# 佐賀県主要経済統計速報

( 2 0 2 2 年 1 月 号 )

## 目 次

1 概 況		
・佐賀県の動向	.....	1 頁
( 参考 ) 全国の動向	.....	2 頁
九州の動向	.....	3 頁
2 主要統計の動き		
( 1 ) 個人消費	百貨店・スーパー販売額	4 頁
	乗用車新規登録台数	5 頁
( 2 ) 住宅建設	新設住宅着工戸数	6 頁
( 3 ) 公共工事	公共工事前払保証請負金額	7 頁
( 4 ) 鉱工業生産	鉱工業生産指数	8 頁
	鉱工業出荷、在庫指数	9 頁
( 5 ) 雇用労働	所定外労働時間数	1 0 頁
	有効求人倍率	1 1 ・ 1 2 頁
( 6 ) 企業倒産	企業倒産件数、負債金額	1 3 頁
( 7 ) 物 価	消費者物価指数	1 4 頁
( 8 ) 金 融	金融機関別貸出残高	1 5 頁
	貸出約定平均金利	
( 9 ) 人 口	人口、世帯	1 6 頁
3 佐賀県景気動向指数	.....	1 7 頁

( 注 ) 表中の p は速報値、 r は確報値または改定値を表す。

令和 4 年 ( 2 0 2 2 年 ) 1 月 3 1 日 発行

# 1 概況

## 佐賀県の動向

本県経済の最近の動向（対前年同月比）をみると、

- ・需要面では、百貨店・スーパー販売額（11月）は、全店販売額が6ヵ月連続で前年同月を下回った。  
乗用車新規登録台数（12月）は、7ヵ月連続で下回った。  
新設住宅着工戸数（11月）は、2ヵ月振りに上回った。  
公共工事前払保証請負金額（12月）は、2ヵ月連続で下回った。
- ・生産面では、鉱工業生産指数（11月）は、3ヵ月連続で下回った。
- ・雇用面では、有効求人倍率(就業地別)（11月）は、7ヵ月連続で上回った。
- ・企業倒産件数（12月）は1件減で、負債金額（12月）は5ヵ月振りに上回った。
- ・金融機関（銀行）貸出残高（12月）は、23ヵ月連続で上回った。

項目			対象月	数値	対前年同月比・増減分		前月比・増減分	
県内需要	個人消費	百貨店・スーパー販売額	11月	53億34百万円	2.2%	👇	7.6%	👇
		全店販売額 既存店販売額		-	0.5%	👇	-	-
	乗用車 新規登録台数	12月	1,997台	8.8%	👇	7.6%	👇	
	住宅建設	新設住宅 着工戸数	11月	587戸	81.7%	👆	43.9%	👆
	公共工事	公共工事前払 保証請負金額	12月	43億1百万円	52.8%	👇	32.5%	👇
生産	鉱工業生産指数（注）		11月	90.7	3.1%	👇	3.0%	👇
雇用	所定外労働時間数指数 （事業所規模30人以上）		11月	92.4	2.7%	👇	-	-
	有効求人倍率・受理地別 （季節調整済）		11月	1.28倍	0.23	👆	0.02	👇
	有効求人倍率・就業地別（＃）		11月	1.42倍	0.25	👆	0.03	👇
企業倒産	企業倒産 状況 （累計は年間ベース） （注）	倒産件数（当月）	12月	2件	1件	👆	1件	👇
		＃（累計）		22件	20件	👆	-	-
		負債金額（当月）		1億82百万円	99百万円	👇	1億42百万円	👇
		＃（累計）		17億95百万円	41億49百万円	👆	-	-
物価	消費者物価指数（佐賀市）		11月	99.7	0.1%	👆	0.1%	👆
金融	金融機関（銀行）貸出残高		12月	1兆4,240億円	1.4%	👆	0.9%	👆
人口	推計人口		1月	804,592人	6,103人	👇	425人	👇
	推計世帯数			314,636世帯	1,492世帯	👆	89世帯	👇
景気動向指数	先行指数		11月	35.0%	-	-	-	-
	一致指数			42.9%	-	-	-	-
	遅行指数			50.0%	-	-	-	-

（注）鉱工業生産指数の前年同期比は原指数、前月比は季節調整済指数を比較したものである。

（注）企業倒産状況の矢印は、数値と逆方向を示す。

## (参考)

# 全国の動向

### (1) 総論

景気は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が徐々に緩和される中で、このところ持ち直しの動きがみられる。

- ・個人消費は、このところ持ち直している。
- ・設備投資は、持ち直しに足踏みがみられる。
- ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。
- ・生産は、持ち直しの動きがみられる。
- ・企業収益は、感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している。企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられる。
- ・雇用情勢は、感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。
- ・消費者物価は、底堅さがみられる。

先行きについては、感染対策に万全を期し、経済社会活動を継続していく中で、各種政策の効果や海外経済の改善もあって、景気が持ち直していくことが期待される。ただし、感染症による影響や供給面での制約、原材料価格の動向による下振れリスクに十分注意する必要がある。また、金融資本市場の変動等の影響を注視する必要がある。

### (2) 消費・投資等の需要動向

個人消費は、このところ持ち直している。

設備投資は、持ち直しに足踏みがみられる。

住宅建設は、おおむね横ばいとなっている。

公共投資は、高水準にあるものの、このところ弱含んでいる。

輸出は、おおむね横ばいとなっている。輸入は、弱含んでいる。貿易・サービス収支は、赤字となっている。

### (3) 企業活動と雇用情勢

生産は、持ち直しの動きがみられる。

企業収益は、感染症の影響が残る中で、非製造業の一部に弱さがみられるものの、持ち直している。

企業の業況判断は、持ち直しの動きがみられる。

倒産件数は、おおむね横ばいとなっている。

雇用情勢は、感染症の影響が残る中で、引き続き弱い動きとなっているものの、求人等に持ち直しの動きもみられる。

### (4) 物価と金融情勢

消費者物価は、底堅さがみられる。

株価（日経平均株価）は、28,500 円台から29,300 円台まで上昇した後、28,100 円台まで下落した。

対米ドル円レート（インターバンク直物中心相場）は、114 円台から116 円台まで円安方向に推移した後、114 円台まで円高方向に推移した。

（以上、内閣府「月例経済報告（令和4年1月）」令和4年1月18日）

### (5) 国の景気動向指数（令和3年11月分C I・平成27年=100）

- |       |       |     |                  |
|-------|-------|-----|------------------|
| ・先行指数 | 103.2 | ・・・ | 前月と比較して1.7ポイント上昇 |
| ・一致指数 | 92.8  | ・・・ | 前月と比較して3.0ポイント上昇 |
| ・遅行指数 | 93.4  | ・・・ | 前月と比較して0.3ポイント上昇 |

（以上、内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」（改訂値）令和4年1月26日）

## (参考)

# 九州の動向

## 1 総論

九州・沖縄の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響から引き続き厳しい状態にあるが、持ち直している。

最終需要の動向をみると、個人消費は、徐々に持ち直している。公共投資は、高水準で推移している。設備投資は、一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。住宅投資は、持ち直している。輸出は、持ち直している。

こうした中で、生産は、持ち直している。雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症や供給面の制約、原材料価格等の上昇が、当地の経済金融情勢に与える影響等に留意する必要がある。

## 2 個人消費

- ・ 個人消費は、徐々に持ち直している。

## 3 住宅投資

- ・ 住宅投資は、持ち直している。  
11月の新設住宅着工戸数は、分譲の増加を主因に前年を上回った。

## 4 公共投資

- ・ 公共投資は、高水準で推移している。  
12月の公共工事請負金額は、県発注分の減少を主因に前年を下回った。

## 5 設備投資

- ・ 設備投資は、一部業種に弱さがみられるものの、持ち直している。  
11月の建築物着工床面積（民間非居住用、後方3か月移動平均）は、前年を上回った。

## 6 輸出

- ・ 輸出は、持ち直している。  
12月の輸出額（九州経済圏）は、前年を上回った。

## 7 生産

- ・ 生産（鉱工業生産）は、持ち直している。

## 8 雇用・所得

- ・ 雇用・所得情勢をみると、労働需給、雇用者所得ともに弱い動きとなっている。  
労働需給をみると、有効求人倍率は横ばい圏内で推移している。  
10月の雇用者所得総額は、現金給与総額の増加を主因に前年を上回った。

## 9 物価

- ・ 11月の消費者物価（九州地区、生鮮食品を除く総合）は、前年を上回った（11月：+0.2%）。

## 10 金融

- ・ 11月の預金残高をみると、個人預金や法人預金を中心に前年を上回った。
- ・ 11月の貸出残高をみると、個人向けや法人向けを中心に前年を上回った。
- ・ 12月の企業倒産をみると、件数・負債総額ともに前年を下回った。

（以上、日本銀行福岡支店「九州・沖縄の金融経済概況（2022年1月）」2022年1月21日）

## 2 主要統計の動き

### (1) 個人消費

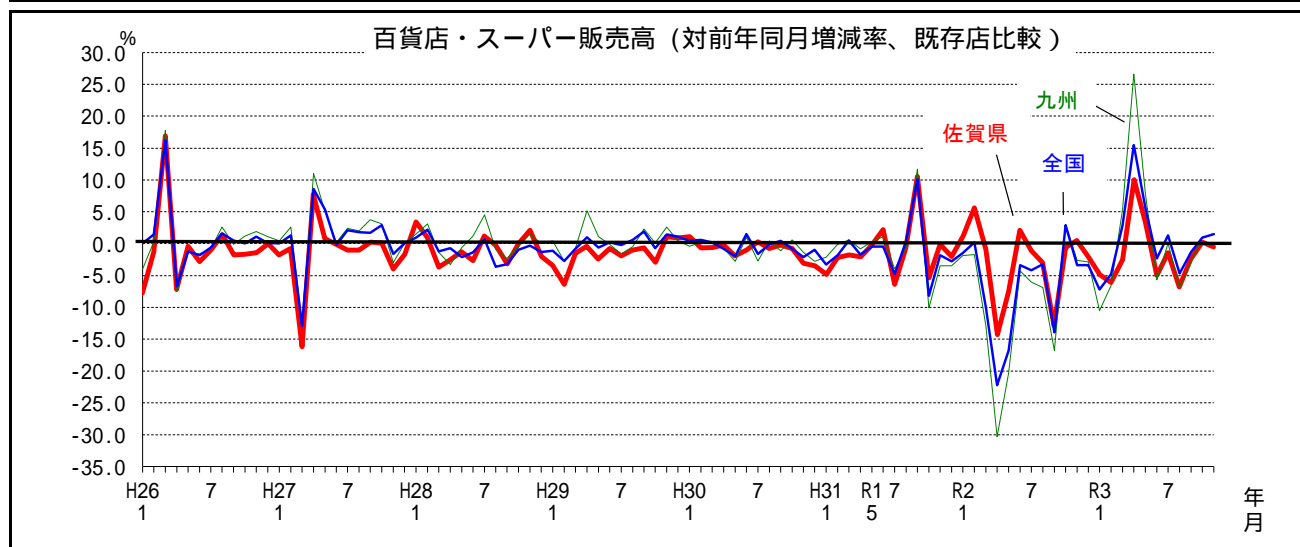
#### 百貨店・スーパー販売額

(百万円、%)

年月	佐賀県		対前年同月増減率			
	全店販売額	前月比	佐賀県全店 (調整前)	既存店比較(店舗調整後)		
				佐賀県	九州	全国
平成28年	65,250		1.4	-0.7	0.3	-0.9
29	64,840		-0.6	-1.5	0.5	0.0
30	62,821		-3.1	-1.0	-0.9	-0.5
令和元年	59,832		-4.8	-1.3	-1.1	-1.3
令和2年	61,299		-1.0	-2.8	-8.5	-6.6
令和2年 6月	5,213	11.4	2.7	2.1	-4.3	-3.4
7	5,442	4.4	1.8	-1.1	-6.0	-4.2
8	5,437	-0.1	0.6	-3.0	-6.9	-3.2
9	4,800	-11.7	-6.7	-12.9	-16.8	-13.9
10	5,043	5.1	5.2	-0.6	3.0	2.9
11	5,453	8.1	2.6	0.5	-2.6	-3.4
12	6,610	21.2	0.5	-2.1	-2.9	-3.4
3年 1月	5,042	-23.7	-1.4	-4.9	-10.5	-7.2
2	4,516	-10.4	-3.0	-6.1	-6.6	-4.8
3	4,969	10.0	0.2	-2.5	5.4	2.9
4	4,799	-3.4	12.0	10.0	26.6	15.5
5	4,966	3.5	6.1	3.4	7.9	5.7
6	5,075	2.2	-2.6	-5.0	-5.7	-2.3
7	5,367	5.8	-1.4	-1.4	-0.0	1.3
8	5,070	-5.5	-6.8	-6.8	-6.9	-4.7
9	4,544	-10.4	-5.3	-2.4	-2.9	-1.3
10	4,959	9.1	-1.7	0.2	1.0	0.9
11	5,334	7.6	-2.2	-0.5	1.4	1.5

九州経済産業局『九州百貨店・スーパー販売動向』、経済産業省『商業動態統計確報』九州には沖縄を含む。

平成27年7月速報より、旧専門量販店調査の対象であった事業所（家電大型専門店、ドラッグストア、ホームセンター）が商業動態統計調査の対象に組み入れられ、統計の名称が「大型小売店販売動向」から「百貨店・スーパー販売動向」と変更された。また、スーパーの対象事業所が見直されたため、これらに関わる前年同月比較増減は、見直しに伴うギャップを調整するためのリンク係数(0.9445)で処理した数値で計算されている。



11月は、既存店（当年及び前年とも調査対象となった店舗）での比較は、前年同月比0.5%減となり、2ヵ月振りに前年同月を下回った。

全店（調査対象が新設の店舗を含む）の販売額は53億34百万円で前年同月比2.2%減となり、6ヵ月連続で前年同月を下回った。

(1) 個人消費 (続き)

乗用車新規登録台数

(台、%)

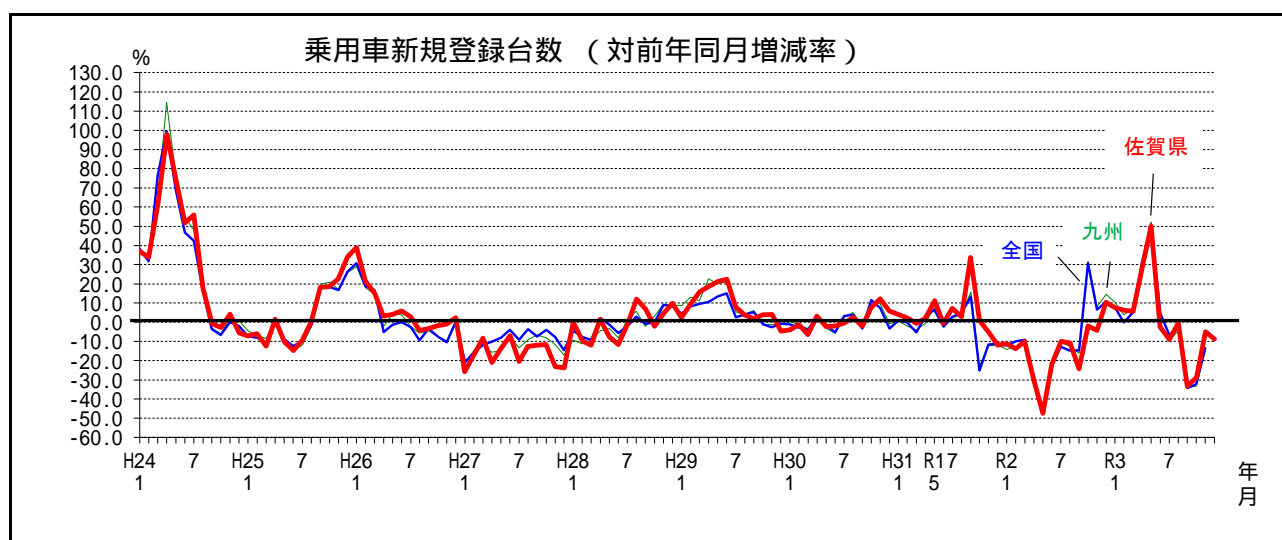
年 月	佐 賀 県				対前年同月増減率				
	総 数	前月比	内 訳		佐 賀 県			九 州	全 国
			普通車	軽自動車	総 数	普通車	軽自動車		
平成28年度	28,831		15,663	13,168	3.9	11.4	-3.8	4.1	3.1
29	30,002		15,321	14,681	4.1	-2.2	11.5	4.7	2.5
30	30,655		15,561	15,094	2.2	1.6	2.8	0.7	0.3
令和元年度	30,628		15,842	14,786	-0.1	1.8	-2.0	-5.0	-4.4
2	27,516		14,066	13,450	-10.2	-11.2	-9.0	-6.0	-7.6
令和2年 7月	2,372	18.1	1,184	1,188	-10.0	-16.3	-2.8	-10.7	-12.8
8	1,963	-17.2	946	1,017	-10.7	-19.7	-0.2	-12.4	-14.8
9	2,759	40.6	1,455	1,304	-24.3	-26.0	-22.4	-16.2	-14.7
10	2,344	-15.0	1,208	1,136	-1.8	2.3	-5.7	31.7	30.8
11	2,275	-2.9	1,167	1,108	-4.2	-5.6	-2.6	8.3	6.7
12	2,189	-3.8	1,135	1,054	10.4	9.8	11.2	14.7	10.8
3年 1月	2,462	12.5	1,257	1,205	7.6	7.8	7.4	10.3	7.7
2	2,701	9.7	1,350	1,351	6.3	0.4	13.0	3.8	-0.1
3	3,648	35.1	1,844	1,804	5.7	1.3	10.6	7.1	5.3
4	2,021	-44.6	958	1,063	29.1	20.7	37.7	31.4	31.6
5	1,843	-8.8	897	946	50.1	21.4	93.5	52.1	50.0
6	1,961	6.4	994	967	-2.4	0.7	-5.4	-1.2	4.5
7	2,160	10.1	1,152	1,008	-8.9	-2.7	-15.2	-10.1	-6.5
8	1,955	-9.5	1,074	881	-0.4	13.5	-13.4	-4.2	-2.5
9	1,844	-5.7	922	922	-33.2	-36.6	-29.3	-33.9	-34.3
10	1,669	-9.5	819	850	-28.8	-32.2	-25.2	-33.3	-32.3
11	2,162	29.5	1,140	1,022	-5.0	-2.3	-7.8	-15.0	-13.5
12	1,997	-7.6	1,041	956	-8.8	-8.3	-9.3		

佐賀：日本自動車販売協会連合会福岡県自動車販売店協会、全国軽自動車協会連合会調

九州・全国：九州経済産業局『九州主要経済指標(速報)』

普通車には小型車を含む。

九州、全国の指数(対前年同月増減率)は普通車と軽自動車の合計。九州には沖縄を含まない。



12月は、1,997台で前年同月比8.8%減となり、7ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は7.6%減となった。

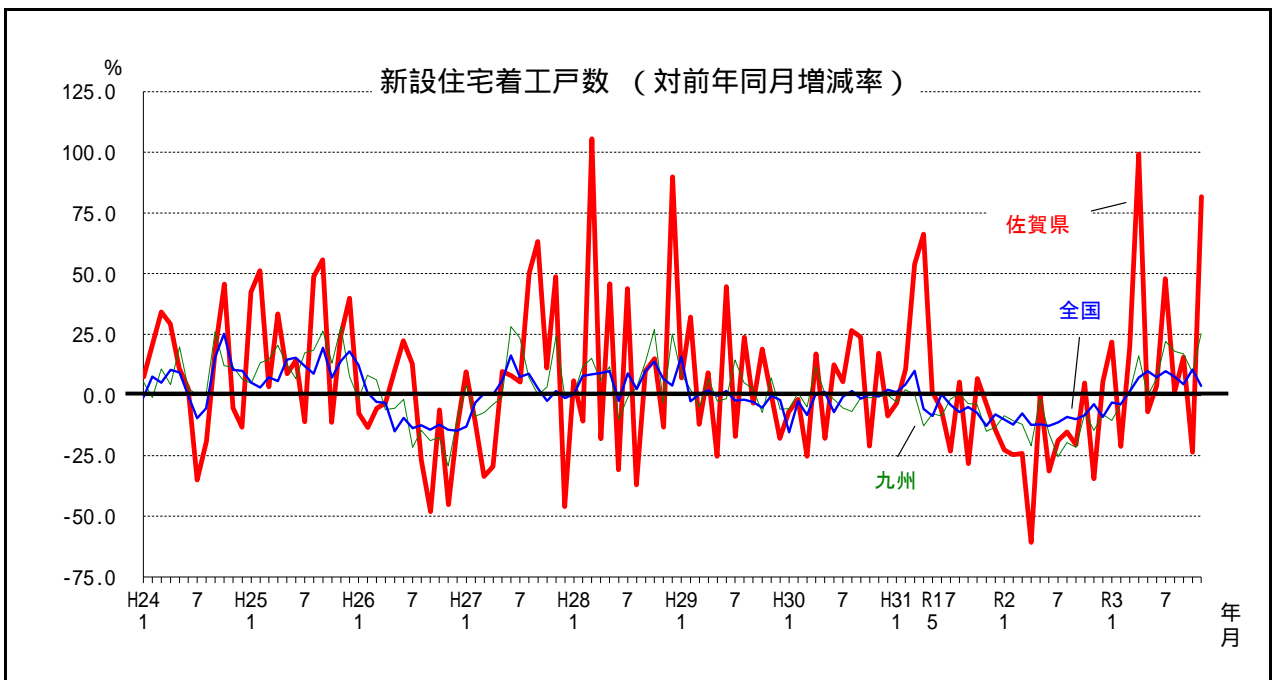
(2) 住宅建設

新設住宅着工戸数

(戸、%)

年 月	佐 賀 県			戸数対前年同月増減率			累計戸数対前年同月増減率		
	戸 数		累計戸数	佐賀県	九 州	全 国	佐賀県	九 州	全 国
		前月比							
平成28年			5,463				10.6	7.6	6.4
29			5,519				1.0	1.8	-0.1
30			5,574				1.0	-1.2	-2.5
令和元年			5,673				1.8	-5.8	-4.0
2			4,409				-22.3	-14.2	-9.9
令和2年	6月	379	2,034	-31.3	-15.6	-12.8	-30.4	-11.9	-11.2
	7	358	2,392	-18.8	-25.4	-11.3	-28.9	-14.0	-11.2
	8	422	2,814	-15.3	-19.7	-9.1	-27.1	-14.8	-11.0
	9	357	3,171	-20.5	-21.5	-9.9	-26.4	-15.6	-10.9
	10	534	3,705	4.9	-7.4	-8.3	-23.1	-14.7	-10.6
	11	323	4,028	-34.5	-14.6	-3.7	-24.2	-14.7	-10.0
	12	381	4,409	5.5	-8.0	-9.0	-22.3	-14.2	-9.9
3年	1月	362	362	21.9	-10.6	-3.1	21.9	-10.6	-3.1
	2	290	652	-21.2	-3.8	-3.7	-2.0	-7.0	-3.4
	3	440	1,092	19.9	1.3	1.5	5.8	-4.3	-1.6
	4	504	1,596	99.2	16.2	7.1	24.2	0.8	0.7
	5	344	1,940	-7.0	-0.2	9.9	17.2	0.6	2.5
	6	393	2,333	3.7	6.8	7.3	14.7	1.6	3.3
	7	530	2,863	48.0	22.1	9.9	19.7	4.5	4.3
	8	427	3,290	1.2	17.9	7.5	16.9	6.1	4.7
	9	413	3,703	15.7	16.9	4.3	16.8	7.3	4.7
	10	408	4,111	-23.6	9.1	10.4	11.0	7.5	5.3
	11	587	4,698	81.7	25.4	3.7	16.6	9.1	5.1

国土交通省『建築着工統計』 九州には沖縄を含む。



11月は、587戸で前年同月比81.7%増となり、2ヵ月振りに前年同月を上回った。また、前月比は43.9%増となった。

(3) 公共工事

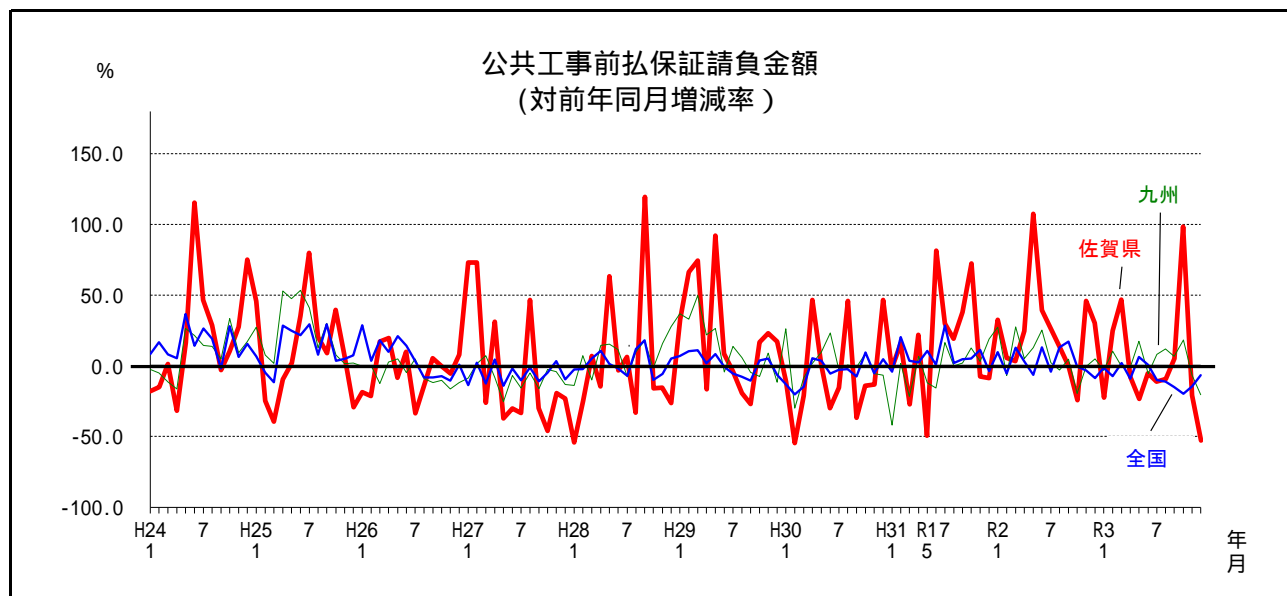
公共工事前払保証請負金額

(百万円、%)

年 月	佐 賀 県			請負金額対前年同月増減率			累計金額対前年同月増減率		
	請負金額		累計金額	佐賀県	九 州	全 国	佐賀県	九 州	全 国
		前月比							
平成28 年度			106,339				11.5	16.7	4.1
29			101,665				-4.4	1.8	-4.3
30			100,880				-0.8	-2.9	1.1
令和元 年度			114,725				13.7	5.8	6.8
2			141,906				23.7	2.5	2.3
令和 2 年 7 月	11,142	-28.5	71,384	26.2	2.3	-4.1	41.3	10.2	1.6
8	14,003	25.7	85,388	13.4	-3.0	13.2	35.9	7.8	3.3
9	10,820	-22.7	96,208	-0.0	4.6	17.1	30.6	7.2	5.2
10	8,704	-19.6	104,912	-24.1	-19.6	-0.4	23.2	3.0	4.5
11	8,061	-7.4	112,974	45.9	-0.5	-3.3	24.6	2.7	3.9
12	9,118	13.1	122,093	30.2	4.9	-8.6	25.0	2.8	3.0
3 年 1 月	4,839	-46.9	126,932	-22.5	-3.2	-1.4	22.1	2.5	2.8
2	5,088	5.1	132,021	24.9	10.4	-7.3	22.3	2.9	2.3
3	9,884	94.3	141,906	46.8	-0.4	1.9	23.7	2.5	2.3
4	25,880	161.8	25,880	-7.7	-0.9	-9.2	-7.7	-0.9	-9.2
5	12,719	-50.9	38,600	-23.5	17.4	6.3	-13.6	6.0	-3.5
6	14,769	16.1	53,369	-5.2	-5.4	0.7	-11.4	2.1	-2.2
7	9,891	-33.0	63,261	-11.2	8.3	-9.9	-11.4	3.7	-3.9
8	12,710	28.5	75,971	-9.2	12.0	-11.0	-11.0	5.1	-5.1
9	11,376	-10.5	87,348	5.1	6.7	-15.1	-9.2	5.4	-6.6
10	17,279	51.9	104,628	98.5	18.2	-19.8	-0.3	6.9	-8.2
11	6,373	-63.1	111,001	-20.9	-6.6	-14.5	-1.7	5.8	-8.7
12	4,301	-32.5	115,302	-52.8	-20.4	-6.6	-5.6	3.7	-8.6

西日本建設業保証(株)

四捨五入の関係で累計額が内訳と一致しない場合がある。九州には沖縄を含む。



12月は、43億1百万円で前年同月比52.8%減となり、2ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は32.5%減となった。



(4) 鋳工業生産

鋳工業生産指数(季節調整済)

(%)

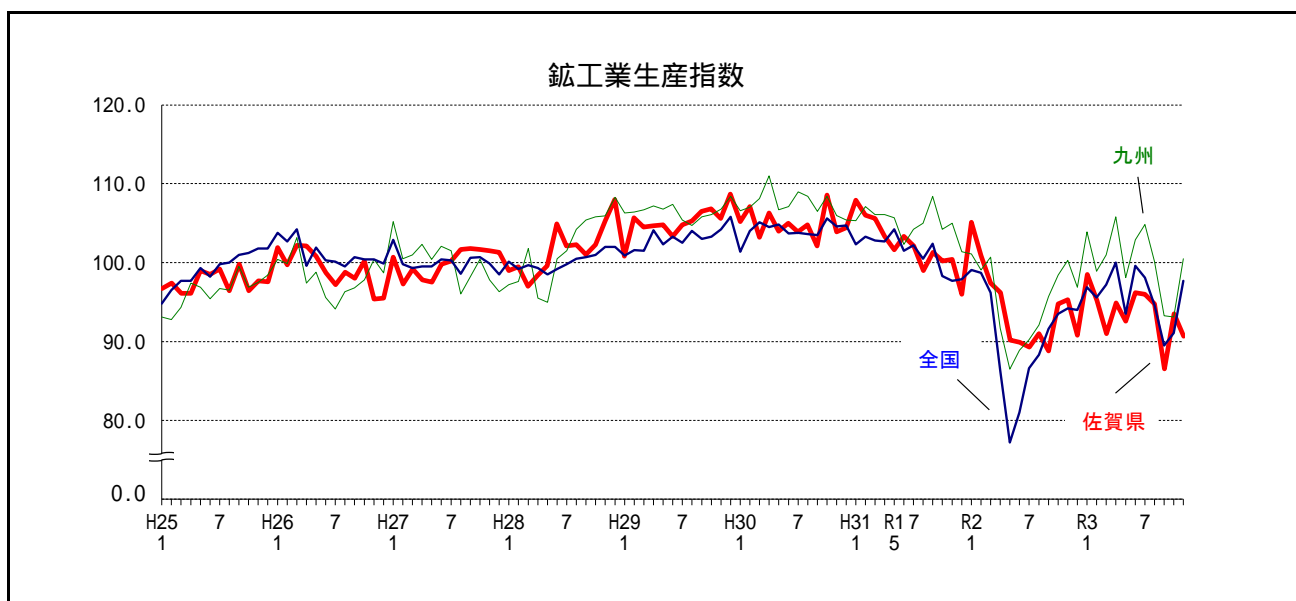
年月	指数			対前月増減率			対前年同月増減率		
	佐賀県 H27=100	九州 H27=100	全国 H27=100	佐賀県 H27=100	九州 H27=100	全国 H27=100	佐賀県 H27=100	九州 H27=100	全国 H27=100
平成28年平均	101.5	101.6	100.0				1.5	1.6	0.0
29	105.3	106.5	103.1				3.7	4.8	3.1
30	104.9	107.5	104.2				-0.4	0.9	1.1
令和元年平均	101.7	104.7	101.1				-3.1	-2.6	-3.0
2	93.9	95.4	90.6				-7.7	-8.9	-10.4
令和2年 6月	89.9	88.9	81.0	-0.3	2.8	4.9	-9.9	-13.3	-18.4
7	89.3	90.2	86.6	-0.7	1.5	6.9	-14.0	-16.2	-15.9
8	91.0	92.1	88.3	1.9	2.1	2.0	-9.7	-14.8	-14.0
9	88.8	95.7	91.6	-2.4	3.9	3.7	-10.7	-8.4	-9.1
10	94.8	98.4	93.5	6.8	2.8	2.1	-3.8	-3.1	-3.4
11	95.3	100.3	94.2	0.5	1.9	0.7	-6.7	-3.6	-4.1
12	90.8	96.9	94.0	-4.7	-3.4	-0.2	-3.8	-1.4	-2.9
3年 1月	98.5	103.9	96.9	8.5	7.2	3.1	-8.7	-0.8	-5.3
2	95.2	98.9	95.6	-3.4	-4.8	-1.3	-5.6	-0.8	-2.0
3	91.0	101.0	97.2	-4.4	2.1	1.7	-3.2	3.4	3.4
4	94.9	105.8	100.0	4.3	4.8	2.9	-1.4	15.3	15.8
5	92.6	98.1	93.5	-2.4	-7.3	-6.5	2.7	13.5	21.1
6	96.2	102.9	99.6	3.9	4.9	6.5	7.0	15.8	23.0
7	96.0	104.8	98.1	-0.2	1.8	-1.5	7.5	14.1	11.6
8	94.8	100.1	94.6	-1.3	-4.5	-3.6	6.1	10.7	8.8
9	86.5	93.3	89.5	-8.8	-6.8	-5.4	-2.7	-2.6	-2.3
10	93.5	r 93.1	r 91.1	8.1	r -0.2	r 1.8	-4.7	r -7.1	r -4.1
11	90.7	p 100.5	p 97.7	-3.0	p 7.9	p 7.2	-3.1	p 2.0	p 5.4

佐賀：統計分析課『佐賀県鋳工業指数月報』平成27年=100

九州・全国：九州経済産業局『九州主要経済指標(速報)』平成27年=100

令和2年の数値は年間補正後若干変動する場合があります。

年平均の指数及び対前年同月増減率は原指数。九州には沖縄を含まない。



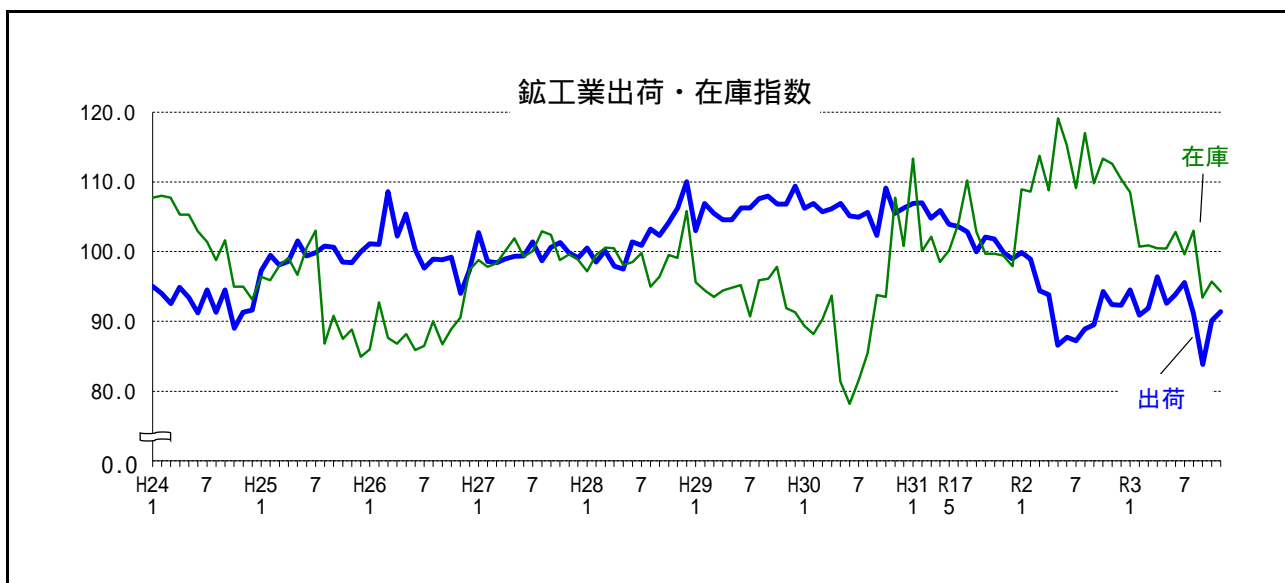
11月は、90.7で前年同月比3.1%減となり、3ヵ月連続で前年同月を下回った。また、前月比は3.0%減となった。

(4) 鋳工業生産(続き)

鋳工業出荷、在庫指数(季節調整済) (%)

年 月	出 荷		在 庫	
	指 数	対前年同 月増減率	指 数	対前年同 月増減率
平成28年平均	102.0	2.0	98.9	-1.1
29	106.3	4.2	94.5	-4.4
30	106.0	-0.3	90.3	-4.4
令和元年平均	103.1	-2.7	102.3	13.3
2	92.1	-10.7	112.1	9.6
令和2年 6月	87.7	-12.1	115.3	10.9
7	87.2	-15.3	109.1	-1.1
8	88.9	-12.8	117.0	13.8
9	89.5	-10.6	109.8	10.1
10	94.3	-8.9	113.3	13.7
11	92.4	-7.6	112.6	13.3
12	92.3	-4.9	110.4	12.8
3年 1月	94.5	-8.6	108.5	0.9
2	90.9	-5.2	100.7	-7.5
3	91.9	-0.9	100.9	-10.9
4	96.4	2.8	100.5	-7.6
5	92.6	7.0	100.4	-15.7
6	93.8	7.0	102.8	-10.8
7	95.6	7.7	99.6	-8.6
8	91.1	4.5	103.0	-11.9
9	83.8	-6.5	93.4	-15.0
10	90.1	-6.3	95.7	-15.5
11	91.4	0.8	94.3	-16.2

統計分析課『佐賀県鋳工業指数月報』 平成27年=100  
 令和2年の数値は年間補正後若干変動する場合がある。  
 年平均の指数及び対前年同月増減率は原指数



(5) 雇用労働  
所定外労働時間数

平成27年平均=100

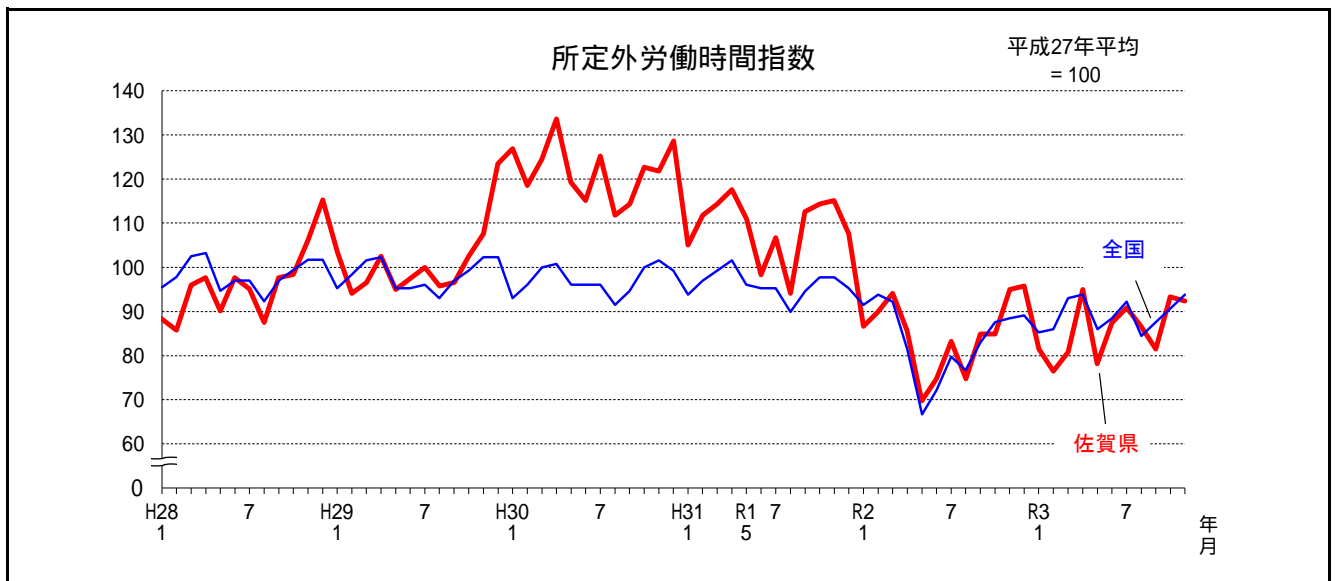
(時間、%)

年 月	所定外労働時間数		同 指 数		対前年同月増減率	
	佐賀県	全 国	佐賀県	全 国	佐賀県	全 国
平成28年平均	11.4	12.7	96.3	98.3	-3.7	-1.7
29	12.1	12.7	101.3	98.2	5.2	-0.1
30	14.5	12.5	121.9	97.1	20.3	-1.1
令和元年平均	13.0	12.4	109.0	96.1	-10.6	-1.0
2	10.1	10.8	85.5	83.5	-22.0	-13.1
令和2年 6月	8.9	9.3	74.8	72.1	-23.9	-24.3
7	9.9	10.3	83.2	79.8	-22.0	-16.3
8	8.9	9.9	74.8	76.7	-20.5	-14.7
9	10.1	10.7	84.9	82.9	-24.6	-12.4
10	10.1	11.3	84.9	87.6	-25.7	-10.3
11	11.3	11.4	95.0	88.4	-17.5	-9.5
12	11.4	11.5	95.8	89.1	-11.0	-6.5
3年 1月	9.7	11.0	81.5	85.3	-5.9	-6.8
2	9.1	11.1	76.5	86.0	-14.9	-8.3
3	9.6	12.0	80.7	93.0	-14.2	0.9
4	11.3	12.1	95.0	93.8	10.9	15.2
5	9.3	11.1	78.2	86.0	12.2	28.9
6	10.4	11.4	87.4	88.4	16.8	22.6
7	10.8	11.9	90.8	92.2	9.1	15.5
8	10.3	10.9	86.6	84.5	15.8	10.2
9	9.7	11.3	81.5	87.6	-4.0	5.7
10	11.1	11.7	93.3	90.7	9.9	3.5
11	11.0	12.1	92.4	93.8	-2.7	6.1

佐賀：統計分析課『毎月勤労統計調査（地方調査）』（事業所規模30人以上）

全国：厚生労働省『 “ ” （全国調査）』（ “ ” ）（再集計値）

増減率は指数をベ - スとする。



11月は、92.4で前年同月比2.7%減となり、2ヵ月振りに前年同月を下回った。

(5) 雇用労働 (続き)

有効求人倍率(受理地別)(季節調整済) (倍)

地区別有効求人倍率(受理地別) (原数値)

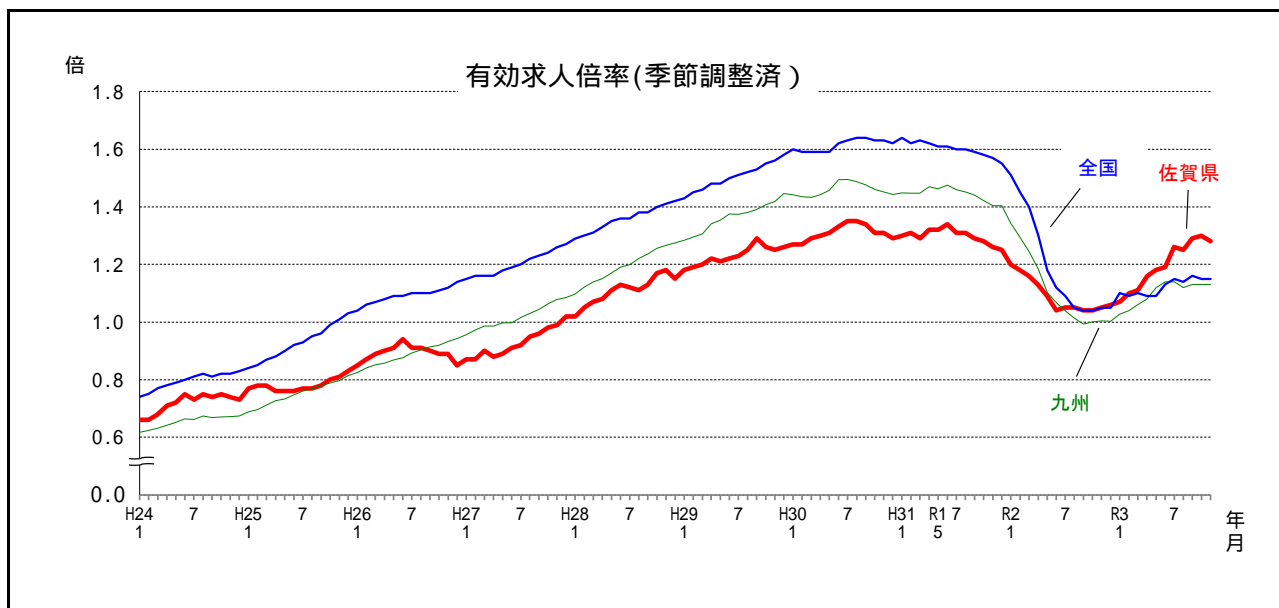
(倍)

年 月	有効求人倍率		
	佐賀県	九州	全国
平成28年度	1.15	1.24	1.39
29	1.25	1.40	1.54
30	1.32	1.46	1.62
令和元年度	1.26	1.40	1.55
2	1.07	1.05	1.10
令和2年 6月	1.04	1.07	1.12
7	1.05	1.04	1.09
8	1.05	1.01	1.05
9	1.04	0.99	1.04
10	1.04	1.00	1.04
11	1.05	1.00	1.05
12	1.06	1.00	1.05
3年 1月	1.07	1.03	1.10
2	1.10	1.04	1.09
3	1.11	1.06	1.10
4	1.16	1.08	1.09
5	1.18	1.12	1.09
6	1.19	1.14	1.13
7	1.26	1.14	1.15
8	1.25	1.12	1.14
9	1.29	1.13	1.16
10	1.30	1.13	1.15
11	1.28	1.13	1.15

年 月	八ローワーク別有効求人倍率					
	佐賀	唐津	武雄	伊万里	鳥栖	鹿島
平成28年度	1.18	1.05	0.89	1.12	1.40	1.00
29	1.26	1.07	1.04	1.24	1.61	1.09
30	1.27	1.17	1.21	1.28	1.70	1.22
令和元年度	1.19	1.18	1.25	1.29	1.59	1.16
2	1.08	0.98	1.03	1.06	1.22	0.95
令和2年 6月	0.97	0.88	0.88	0.99	1.08	0.78
7	1.03	0.88	0.92	1.01	1.12	0.87
8	1.06	0.88	0.91	0.97	1.18	0.88
9	1.10	0.90	0.94	0.93	1.13	0.83
10	1.13	0.95	0.98	1.00	1.18	0.91
11	1.12	1.05	1.02	1.10	1.26	1.03
12	1.19	1.11	1.21	1.22	1.35	1.10
3年 1月	1.16	1.17	1.23	1.26	1.29	1.14
2	1.18	1.07	1.23	1.21	1.27	1.11
3	1.12	1.06	1.16	1.10	1.22	1.08
4	1.03	0.98	1.09	1.13	1.16	0.98
5	1.04	0.99	1.06	1.15	1.10	0.99
6	1.09	1.03	1.10	1.21	1.15	1.00
7	1.15	1.11	1.21	1.44	1.30	1.03
8	1.13	1.12	1.21	1.36	1.34	1.08
9	1.28	1.13	1.21	1.35	1.40	1.08
10	1.36	1.23	1.24	1.30	1.42	1.25
11	1.41	1.29	1.29	1.37	1.34	1.36

佐賀労働局『一般職業紹介状況』  
厚生労働省『一般職業紹介状況』  
パートタイムを含む。九州には沖縄を含む。  
年度の数値は原数値。

佐賀労働局『一般職業紹介状況』  
パートタイムを含む。



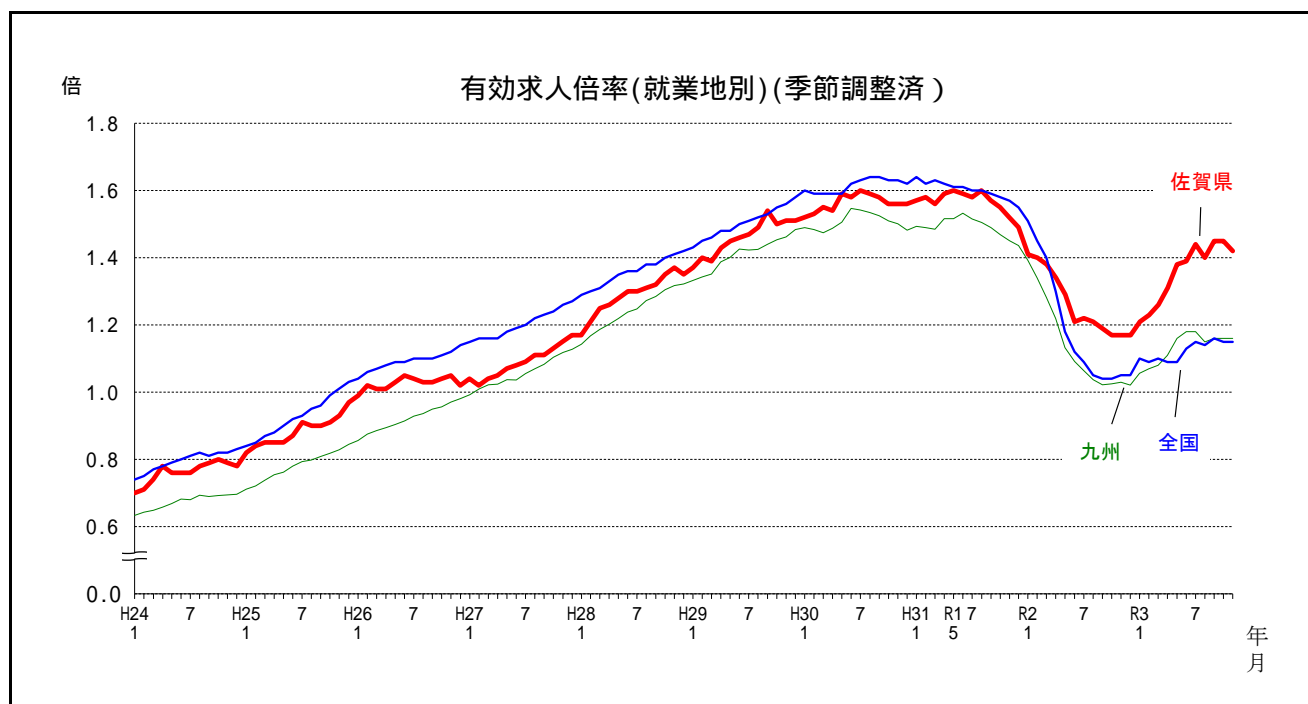
11月は、1.28倍で前年同月を0.23ポイント上回り、8カ月連続で前年同月を上回った。また、前月比は0.02ポイント下回った。

( 5 ) 雇用労働 ( 続き )

有効求人倍率(就業地別)(季節調整済) ( 倍 )

年 月	有効求人倍率		
	佐賀県	九州	全国
令和 2 年 6 月	1.21	1.09	1.12
7	1.22	1.06	1.09
8	1.21	1.04	1.05
9	1.19	1.02	1.04
10	1.17	1.02	1.04
11	1.17	1.03	1.05
12	1.17	1.02	1.05
3 年 1 月	1.21	1.06	1.10
2	1.23	1.07	1.09
3	1.26	1.08	1.10
4	1.31	1.11	1.09
5	1.38	1.16	1.09
6	1.39	1.18	1.13
7	1.44	1.18	1.15
8	1.40	1.15	1.14
9	1.45	1.16	1.16
10	1.45	1.16	1.15
11	1.42	1.16	1.15

厚生労働省『一般職業紹介状況』  
パートタイムを含む。九州には沖縄を含む。



11月は、1.42倍で前年同月を0.25ポイント上回り、7ヵ月連続で前年同月を上回った。また、前月比は0.03ポイント下回った。

(6) 企業倒産

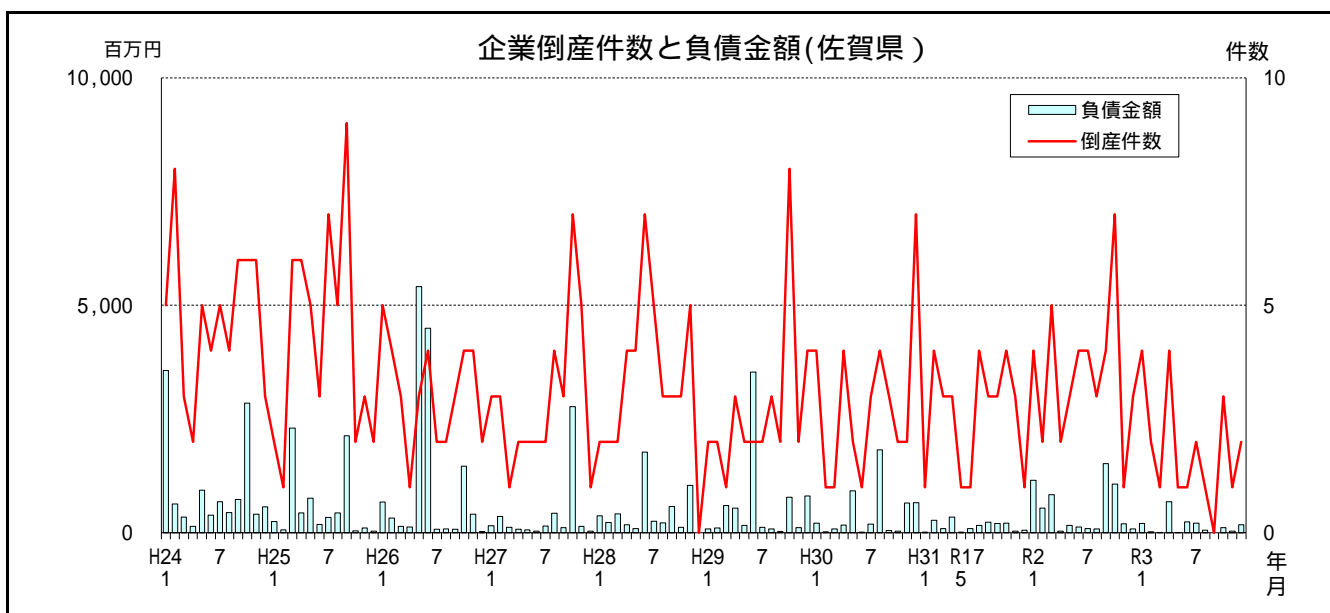
企業倒産件数、負債金額

(件、百万円、%)

年月	佐賀県				累計件数対前年同月増減率			累計金額対前年同月増減率			
	件数	累計件数	金額	累計金額	佐賀県	九州	全国	佐賀県	九州	全国	
平成29年		33		6,983	-17.5	-9.6	-0.5	31.8	-21.8	57.9	
30		34		4,863	3.0	13.1	-2.0	-30.4	3.5	-53.1	
令和元年		31		1,770	-8.8	10.2	1.8	-63.6	-4.1	-4.2	
2		42		5,944	35.5	-11.4	-7.3	235.8	11.4	-14.3	
3		22		1,795	-47.6	-24.8	-22.4	-69.8	-24.8	-5.7	
令和2年	7月	4	24	98	2,979	41.2	-5.3	-0.1	193.8	13.8	-11.4
	8	3	27	90	3,069	35.0	-5.2	-0.3	145.1	16.6	-11.9
	9	4	31	1,518	4,587	34.8	-7.6	-2.4	215.5	19.7	-14.7
	10	7	38	1,076	5,663	40.7	-8.1	-4.4	239.5	18.9	-14.4
	11	1	39	198	5,861	30.0	-9.1	-6.1	242.7	2.6	-14.6
	12	3	42	83	5,944	35.5	-11.4	-7.3	235.8	11.4	-14.3
3年	1月	4	4	207	207	0.0	-37.3	-38.7	-82.1	-76.6	-34.8
	2	2	6	25	232	0.0	-40.2	-35.4	-86.4	-70.2	-24.0
	3	1	7	10	242	-36.4	-34.1	-28.2	-90.5	-26.9	-3.9
	4	4	11	686	928	-15.4	-37.4	-30.1	-64.1	-29.4	-16.2
	5	1	12	10	938	-25.0	-30.4	-22.3	-65.9	-25.2	2.8
	6	1	13	241	1,179	-35.0	-30.6	-23.9	-59.1	-18.5	-6.9
	7	2	15	216	1,395	-37.5	-32.6	-26.5	-53.2	-26.4	-9.9
	8	1	16	60	1,455	-40.7	-30.9	-27.0	-52.6	-18.7	-6.8
	9	0	16	0	1,455	-48.4	-29.4	-25.4	-68.3	-23.0	-4.0
	10	3	19	118	1,573	-50.0	-26.2	-24.5	-72.2	-14.8	-1.6
	11	1	20	40	1,613	-48.7	-25.6	-23.4	-72.5	-14.1	-2.2
	12	2	22	182	1,795	-47.6	-24.8	-22.4	-69.8	-24.8	-5.7

(株)東京商工リサーチ『全国企業倒産状況』

負債金額1千万円以上。九州には沖縄を含む。



12月は、倒産件数2件、負債金額1億82百万円、前年同月と比べて件数は1件減で、金額は99百万円上回った。また、前月と比べて件数は1件増で、金額は1億42百万円上回った。

(7) 物 価  
消費者物価指数

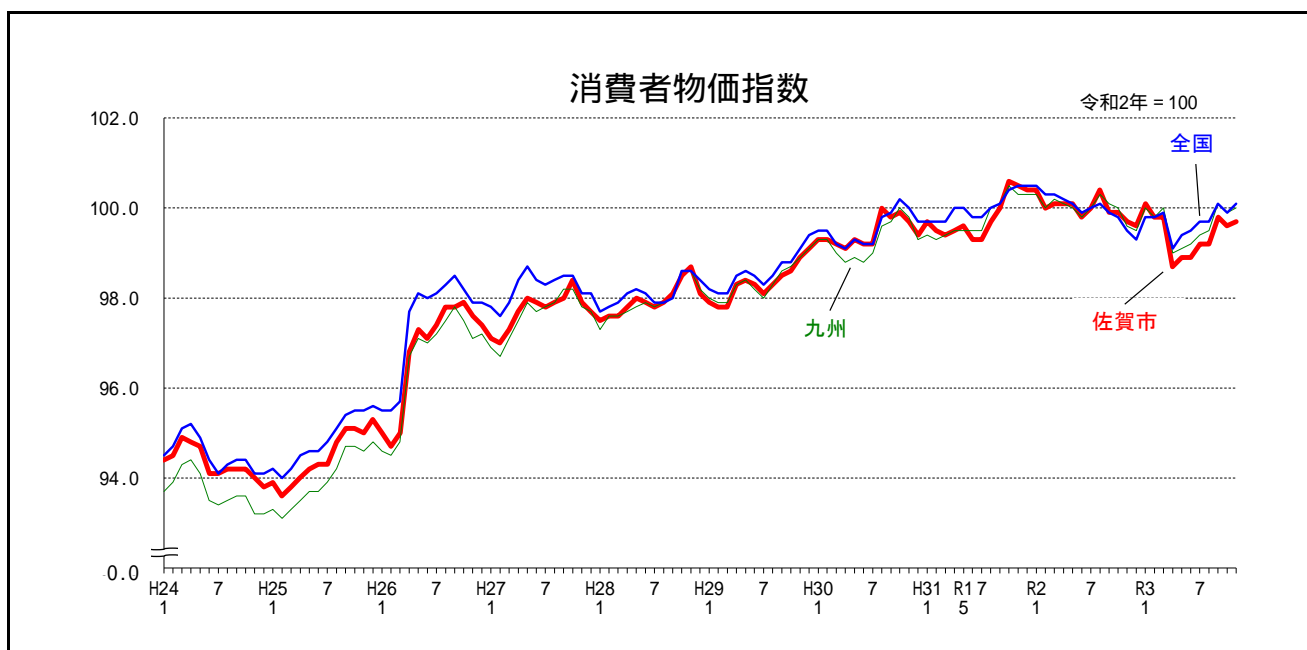
令和2年 = 100

(%)

年 月	指 数			対 前 月 増 減 率			対 前 年 同 月 増 減 率		
	佐 賀 市	九 州	全 国	佐 賀 市	九 州	全 国	佐 賀 市	九 州	全 国
平成28 年平均	98.0	97.9	98.1				0.2	0.3	-0.1
29	98.3	98.4	98.6				0.4	0.5	0.5
30	99.5	99.3	99.5				1.1	0.9	1.0
令和元 年平均	99.8	99.8	100.0				0.3	0.5	0.5
2	100.0	100.0	100.0				0.2	0.2	0.0
令和 2 年 6 月	99.8	99.8	99.9	-0.3	-0.2	-0.2	0.5	0.4	0.1
7	100.0	100.0	100.0	0.2	0.2	0.1	0.8	0.6	0.3
8	100.4	100.3	100.1	0.4	0.3	0.1	0.7	0.4	0.2
9	99.9	100.1	99.9	-0.4	-0.3	-0.2	0.2	0.1	0.0
10	99.9	100.0	99.8	0.0	0.0	-0.1	-0.6	-0.3	-0.4
11	99.7	99.6	99.5	-0.3	-0.4	-0.3	-0.8	-0.6	-0.9
12	99.6	99.5	99.3	-0.1	-0.2	-0.2	-0.9	-0.9	-1.2
3 年 1 月	100.1	100.0	99.8	0.5	0.6	0.5	-0.3	-0.2	-0.7
2	99.8	99.8	99.8	-0.4	-0.2	-0.1	-0.2	-0.2	-0.5
3	99.8	100.0	99.9	0.0	0.1	0.1	-0.4	-0.2	-0.4
4	98.7	99.0	99.1	-1.0	-1.0	-0.8	-1.3	-1.1	-1.1
5	98.9	99.1	99.4	0.1	0.1	0.3	-1.3	-0.9	-0.8
6	98.9	99.2	99.5	0.1	0.1	0.1	-0.9	-0.6	-0.5
7	99.2	99.4	99.7	0.3	0.2	0.2	-0.8	-0.6	-0.3
8	99.2	99.5	99.7	0.0	0.1	0.0	-1.2	-0.8	-0.4
9	99.8	100.1	100.1	0.6	0.6	0.4	-0.1	0.0	0.2
10	99.6	99.9	99.9	-0.2	-0.2	-0.2	-0.3	-0.1	0.1
11	99.7	100.0	100.1	0.1	0.1	0.2	0.1	0.3	0.6

統計分析課『消費者物価指数』

九州には沖縄（那覇市）を含む。



11月は、99.7で前年同月比0.1%増となった。また、前月比は0.1%増であった。

(8) 金融

金融機関別貸出残高(佐賀県)

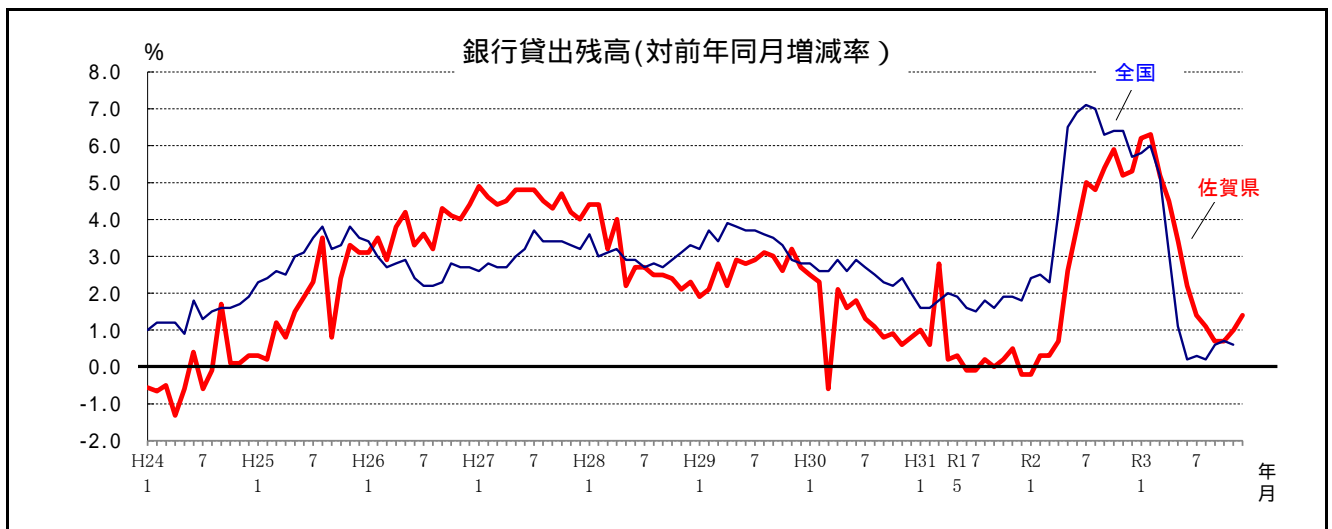
貸出約定平均金利

(年利%)

年月末	合計					銀行対前年 同月増減率		年月	地方銀行 全国	
	銀行	信用 金庫	信用 組合	前月比	佐賀県	全国				
							前月比			
平成28年	15,824	12,907			2,307	610	2.3	3.3	平成28年	1.069
29	16,228	13,257			2,352	619	2.7	2.8	29	1.006
30	16,411	13,367			2,397	647	0.8	2.0	30	0.946
令和元年	16,426	13,344			2,434	648	-0.2	1.8	令和元年	0.898
2	17,385	14,050			2,618	717	5.3	5.7	2	0.858
令和2年 7月	17,185	13,913	1.3	2,572	700	5.0	7.1	令和2年 7月	0.863	
8	17,249	13,963	0.4	2,579	707	4.8	7.0	8	0.862	
9	17,239	13,944	-0.1	2,588	707	5.4	6.3	9	0.863	
10	17,302	13,991	0.3	2,598	713	5.9	6.4	10	0.861	
11	17,287	13,976	-0.1	2,600	711	5.2	6.4	11	0.860	
12	17,385	14,050	0.5	2,618	717	5.3	5.7	12	0.858	
3年 1月	17,421	14,097	0.3	2,611	713	6.2	5.8	3年 1月	0.855	
2	17,489	14,164	0.5	2,613	712	6.3	6.0	2	0.852	
3	17,332	14,020	-1.0	2,595	717	5.2	5.2	3	0.852	
4	17,222	13,912	-0.8	2,601	709	4.5	3.1	4	0.848	
5	17,358	14,049	1.0	2,602	707	3.4	1.1	5	0.846	
6	17,349	14,041	-0.1	2,602	706	2.2	0.2	6	0.844	
7	17,416	14,103	0.4	2,606	707	1.4	0.3	7	0.840	
8	17,425	14,116	0.1	2,604	705	1.1	0.2	8	0.838	
9	17,360	14,048	-0.5	2,609	703	0.7	0.6	9	0.836	
10	17,407	14,087	0.3	2,615	705	0.7	0.7	10	0.834	
11	17,422	14,111	0.2	2,605	706	1.0	0.6	11	0.831	
12	17,573	14,240	0.9	2,622	711	1.4				

佐賀：(一社)佐賀県銀行協会、佐賀県信用金庫協会、佐賀県信用組合協会提供  
 全国：日本銀行『金融経済統計月報』  
 暦年値は各年12月を採用。  
 四捨五入の関係で合計額が内訳と一致しない場合がある。

全国：日本銀行『貸出約定平均金利の推移』  
 貸出約定平均金利には当座貸越を含む。  
 暦年値は各年12月を採用。



12月の銀行貸出残高は、1兆4,240億円で前年同月比1.4%増となり、23ヵ月連続で前年同月を上回った。また、前月比は、0.9%増となった。



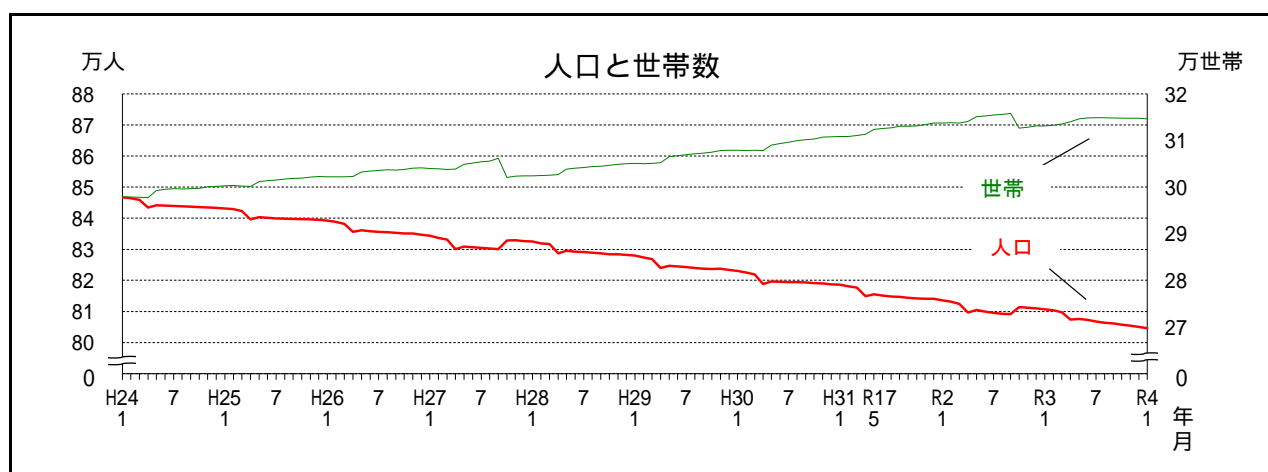
(9)人口  
人口、世帯

年月	人口 (人)			世帯数 (世帯)		
	人口	対前月増減数	対前年増減数	世帯数	対前月増減数	対前年増減数
平成29年	823,620		-4,768	307,514		2,868
30	819,110		-4,510	310,323		2,809
令和元年	814,211		-4,899	313,132		2,809
2	811,442		-2,769	312,680		-452
3	805,721		-5,721	314,731		2,051
令和2年 7月	809,486	-478	-5,295	315,445	221	2,700
8	809,248	-238	-5,433	315,639	194	2,619
9	809,102	-146	-5,331	315,768	129	2,719
10	811,442	2,340	-2,769	312,680	-3,088	-452
11	811,196	-246	-2,840	312,867	187	-541
12	811,016	-180	-3,009	313,103	236	-609
3年 1月	810,695	-321	-2,895	313,144	41	-598
2	810,333	-362	-2,837	313,288	144	-522
3	809,824	-509	-2,633	313,498	210	-197
4	807,362	-2,462	-2,358	313,992	494	-110
5	807,552	190	-2,879	314,633	641	-496
6	807,300	-252	-2,664	314,831	198	-393
7	806,752	-548	-2,734	314,820	-11	-625
8	806,421	-331	-2,827	314,855	35	-784
9	806,113	-308	-2,989	314,817	-38	-951
10	805,721	-392	-5,721	314,731	-86	2,051
11	805,446	-275	-5,750	314,743	12	1,876
12	805,017	-429	-5,999	314,725	-18	1,622
4年 1月	804,592	-425	-6,103	314,636	-89	1,492

統計分析課『佐賀県の推計人口』

令和2年10月値は令和2年国勢調査の確報値。

年値は各年10月1日現在、月値は各月1日現在。



(人口) 1月は、804,592人で、前年同月比6,103人の減少となり、平成9年5月以降連続して、前年同月を下回った。また、前月比425人減少した。

(世帯) 1月は、314,636世帯で、前年同月比1,492世帯の増加となった。また、前月比89世帯減少した。

### 3 佐賀県景気動向指数

#### 1 令和3年11月の動向

- ◆ 先行指数 **35.0%** …… 3か月連続で50%を下回った。
- ◆ 一致指数 **42.9%** …… 2か月振りに50%を下回った。
- ◆ 遅行指数 **50.0%** …… 10か月振りに50%を上回った後、50%になった。

#### 〈個別指標の動向〉

	+ となった指標		- となった指標		保ち合い(O)
<b>《先行系列》</b> 採用系列数 10 拡張系列数 3.5 <b>指数 35.0</b>	鉱工業在庫率(生産財・逆) 新設住宅着工戸数 不渡手形金額(逆)	3か月振り 2か月振り 2か月振り	所定外労働時間数 新規求人数 鉱工業生産指数(生産財) 乗用車新車登録台数 銀行貸出残高(☆) 手形交換金額(☆)	3か月連続 2か月振り 3か月連続 3か月連続 8か月連続 3か月振り	企業倒産件数(逆) -
<b>《一致系列》</b> 採用系列数 7 拡張系列数 3.0 <b>指数 42.9</b>	有効求人倍率(就業地別) 鉱工業出荷指数(総合) 大型店売上高(☆)	11か月連続 5か月振り 6か月振り	就職率 鉱工業生産指数(総合) 着工建築物床面積(産業用) 輸入総額(唐津港+伊万里港)	5か月振り 3か月連続 2か月振り 4か月振り	
<b>《遅行系列》</b> 採用系列数 6 拡張系列数 3.0 <b>指数 50.0</b>	雇用保険受給実人員(逆) 陶磁器生産重量 消費者物価指数(☆)	3か月連続 2か月連続 3か月連続	常用雇用指数 鉱工業在庫指数(総合) 銀行預貸率	2か月振り 3か月連続 5か月連続	

(逆)は逆サイクルを示す。

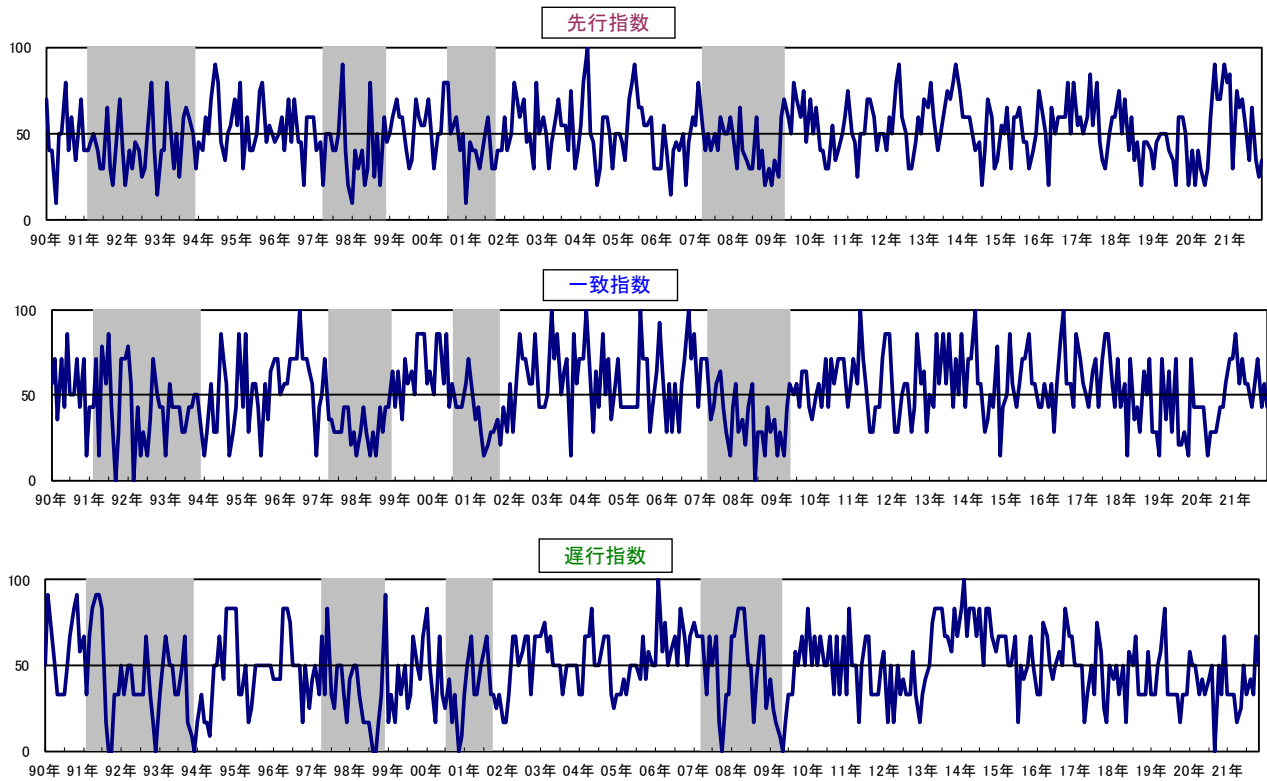
(☆)は対前年同月比で、その他はセンサス局法により季節調整を行っている。

(注)令和3年7月分公表から「消費者物価指数」の基準年更新により、全期間で遡及して数値を変えているため、遅行系列において一部変化方向表が変わっている。

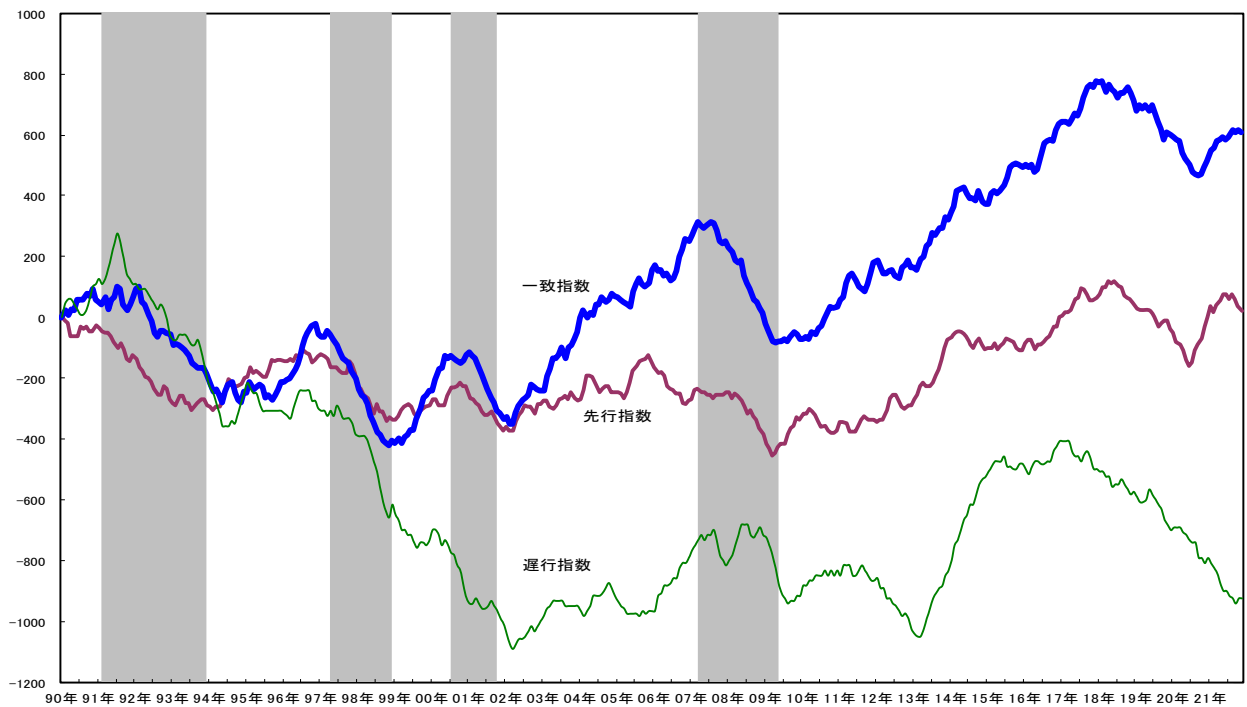
#### 景気動向指数(DI: Diffusion Index)の見方

- ★ DIは、景気の動きを各種の指標によって総合的にとらえようとするもので、各系列で採用指標のうち3か月前と比較して増加している系列(+ )が何%を占めているかを表したものです。  
各系列において、指数の計算方法は次式によります。  
指数 = (「+」の指標数 + 0.5 × 保ち合い「0」の指標数) ÷ 当該採用指標数 × 100
- ★ DIには3つの指標があり、それぞれ下記のような特徴があります。  
「先行指数」 …… 景気に対し先行して動き、景気の先行きを予測する。  
「一致指数」 …… 景気に対しほぼ一致して動き、景気の現状を示す。  
「遅行指数」 …… 景気に対し遅れて動き、景気の動きを確認する。
- ★ 一致指数が基調的に50%を上回って推移している時期は景気拡張期、50%を下回って推移している時期は景気後退期と判断します。  
なお、値そのものの大きさは景気変動の大きさないし振幅を示すものではありません。

## カレントDIグラフ



## 累積DIグラフ



シャドー部分は景気後退期を示す。

今月の累積DI = 先月の累積DI + (今月のDI - 50)